

耳つば探知機をより良く活用するために（必ずお読み下さい）

耳つば探知機は非常にデリケートな精密機器であり、他にはない特殊な機器であるため機器の性能に対するユーザーのご理解、取り扱いには十分にお気をつけくださいますようお願い致します。

この耳つば探知機は全ての耳つばに反応を示すものではなく、耳つば施術をアプローチすべき「未病（体の不調）」の状態の部分に強く反応を示します。

＊未病時における体への水分変化に対して電流が反応を示す仕組みのためです。

合わせて注意事項として、発汗時（室温・気温、入浴・運動後など）、大量の水分摂取時などはいかなる部位でも反応を示す時があり、自身で自身の耳に触れると通電が良すぎるために正確に耳つばを探知することができない場合がございますので、予めご了承をお願い致します。

本機器は、クライアント（第三者）に対しての施術補助機器としてお使い下さい。

耳つば探知機は医療機器ではございません。耳つばは医療行為でなく民間代替施術であることをご理解して施術にあたってください。

①電池の入れ方



ゆっくりとクリップ周囲のグリップを回してキャップを外します。



アルカリ・マンガン電池（23A：単5ではない）の＋側を下にして挿入します。



その後ゆっくりとグリップを持ってキャップを着け戻してください。

電池について

本体/ビット2種類

※乾電池は付属していません

Panasonic社製 LRV08

（アルカリ電池：23A相当品）

※単3電池・単4電池ではありません。

※特殊な電池なので電気屋などにお問い合わせの上ご準備くださいませ。



②耳つばの探索方法

- 施術者はクライアントへ押し当てているペン先裏側へもう一方の指を当てておきます。
- クライアントの選穴した耳つばへ垂直に当たるようやや奥までペン先を押しあてます。
- 押しあてていると圧痛が強く、点滅している場合はアプローチするツボと考えます。
- アプローチすべきツボに入ると点滅が速まります。（離れるとゆっくりとなる。）



③アタッチメントの取り替え方法



ゆっくりとクリップ上のグリップを回してキャップを外します。



グリップの中からボディ用のアタッチメント（大）が出てきます。



耳用のアタッチメント（小）を外して、ボディ用（大）を取り付けていきます。

④ボディのツボの探索方法

- ボディ用はサブ機能ですので、耳ツボ探索より反応が鈍いことがありますのでご了承ください。（耳ツボ探索の電流がメインとなっております。）
- 施術者はクライアントへ押し当てているペン先裏側へもう一方の指を当てておきます。
- クライアントの選穴したツボへ垂直に当たるようやや奥までペン先を押し合てます。
- 押し当てていると圧痛が強く、点滅している場合はアプローチするツボと考えます。
- ボディへは耳よりもさらに奥深くにアタッチメントを押当てないと反応が出にくい場合がございます。



⑤耳つば探知機の反応がない場合に考えられること

- 圧痛点が本当にあるかどうかを確認し、アプローチ部位を移動させて下さい。
＊近くでより圧痛があるポイントを調べて下さい。
- アプローチすべき（改善効果を出すべき）ツボではない場合もございます。
- 体内の水分バランスが不良の場合など反応が鈍い状態である場合もございます。
＊運動・入浴後、アルコール摂取時、脱水時など
- 電池の残量がない。
- 電池の＋が反対に入っていないませんか？
- アプローチしているクライアントが極めて通電の反応が鈍い状態（体質）である場合も考慮して、他数名（最低5人以上）でお試し下さい。
- 取り扱い時に落下など強い衝撃を与えたり、上下に強く揺さぶるような行為をしておりませんか？